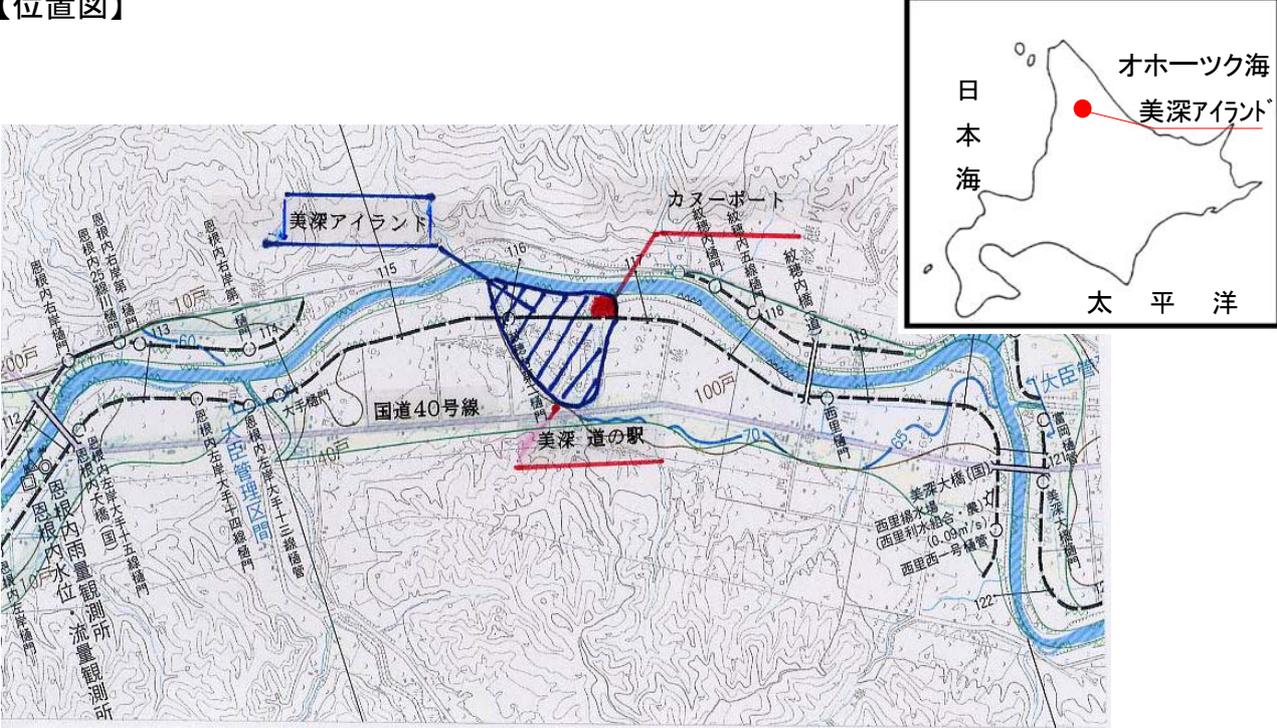


観光社会資本の事例

テーマ	朔北の大河 天塩川を下る	
【施設の状況写真】		
		
カヌーの利用も考えられた低水護岸	カヌーだけでなく低水路に下りることも可能	
【施設の利用写真】		
		
ダウン・ザ・テッシ・オ・ペツの様子	カヌーイストの利用も多い	
【観光資源としての利用状況】		
<p>天塩川は、風連町にある風連 20 線堰堤下流から河口まで河川横断工作物が一切無く、カヌーで下れる距離は 157km と日本一長い。この日本最長の川下りを楽しむカヌー大会として「ダウン・ザ・テッシ・オ・ペツ」が毎年開催されている外、美深町では天の川下りコンテストやオープンカナディアンカヌーレースなどの各種イベントでも利用されています。また、この場所は国道のそばで交通の便も良く、旧川は美深アイランドとして地元では観光施設として使われています。</p>		
<p>天塩川の雄大な自然を感じながら、川下りが可能なため、全国からカヌーツーリングに来る人が集まっています。</p>		

テーマ	朔北の大河 天塩川を下る
【社会資本の基礎データ】 ○名称 美深アイランドカーヌーポート ○所在地 北海道中川郡美深町紋穂内左岸地先 ○事業名 紋穂内左岸護岸工事 ○事業主体 北海道開発局 ○事業期間 平成6年3月～平成6年11月	
【社会資本の役割・効果】 天塩川流域は自然を残したままの河道を形成しています。 その天塩川への河川利用をより容易にすること、地元もふくめて誰でも川へ入っていけるように、美深町道の駅がそばにあり、交通のアクセスも良好な『美深アイランド』において親水性をより高める事も含めた低水路護岸の整備を行っています。	
【位置図】 	
【関連ホームページ】 北海道カナディアンカヌークラブ http://city.hokkai.or.jp/~kazusa/a.htm	